

各位

## 「遠州鉄道写真展～当たり前をつなぐ、プロの姿～」の開催について

遠州鉄道株式会社（本社：浜松市中央区旭町、取締役社長：丸山晃司、以下 遠州鉄道）は、公立大学法人静岡文化芸術大学（所在地：浜松市中央区中央、学長：横山俊夫、以下 静岡文化芸術大学）の研究活動（※）に協力しています。この度、その研究成果の一部を市民の皆さまに公開することを目的とした展覧会「遠州鉄道写真展～当たり前をつなぐ、プロの姿～」が、下記のとおり開催されることとなりました。本展示では、学術的視点と浜松在住の若者の視点を通じて、遠州鉄道の「歴史の歩み」や「安全・安心を守り続ける人々」の姿を紹介します。

記

### ■ 「遠州鉄道写真展～当たり前をつなぐ、プロの姿～」開催概要

#### （1）写真展

【日時】 2025年2月8日（土）～10日（月）  
10：00～19：00 \*10日は16：00に閉場

【会場】 静岡文化芸術大学 西棟 ギャラリー  
（浜松市中央区中央2-1-1）

【入場料】 無料

#### （2）トークセッション

【日時】 2025年2月9日（日）13：00～14：00

【会場】 静岡文化芸術大学 西棟 ギャラリー  
「遠州鉄道写真展」会場内にて開催

【内容】 安全・安心を守る遠鉄社員の生の声をお届けします。

【入場料】 無料

【主催】 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター

【共催】 遠州鉄道

【後援】 浜松市



## ■本企画展の展示趣旨

遠州鉄道は、浜松の交通インフラとして浜松馬車鉄道時代から120余年に渡って、浜松の生活・経済・文化を支えてまいりました。その鉄道・バスの運行には、遠州鉄道が「安全であり、安心感を抱くことができる」という「当たり前」が存在しています。本企画展では、この「安全・安心」をテーマに捉え、「歴史の歩み」や「安全・安心を守り続ける人々」を中心に紹介します。

## ■本企画展の特徴

本企画展は、本学教員による遠州鉄道の研究の中で見出された「地域への想い、同グループの結束力」を軸に、浜松在住の本学学生による「安全・安心を守り続ける人々」への取材を通じて構成されています。安全・安心への取り組みに普段触れることのない若者達の視点を切り口とした構成が特徴となっています。

(※)教員特別研究（先進的研究、令和5年度～6年度）

研究課題名：遠州地域の鉄道に学ぶ地域貢献と経営改善に関する研究

研究代表者：デザイン学部 中川晃准教授

以上

\*\*\*\*\*

【本リリースに関するお問い合わせ先】

遠州鉄道株式会社 地域共創推進室